

# 平成31年度 事業計画書

社会福祉法人 青い鳥

日本平学園

日本平ホーム

日本平ホーム短期入所

# 社会福祉法人 青い鳥

## 法人理念

共に悩み、共に感動し、共に認め合える法人を目指します。

## 基本方針

障がいの有無にかかわらず個人の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう地域支援を推し進める。利用者本人とその家族の思いや願いに寄り添い、一人ひとりに合った支援を行う。

## 重点目標

- (1) 新しい時代にあった法人経営を展開
  - ①公益性の高い社会福祉法人として組織の再編成を行う
  - ②事業運営の透明性を推進する
  - ③地域貢献、情報発信、地域連携を進める
  - ④障害者差別解消法、女性活躍推進法など時代のニーズに応える
  
- (2) 人材の確保、育成
  - ①人材の確保、育成を進める
  - ②働きがいがあり、働き続けられる職場づくりに努める
  - ③多様な人材を適材適所に配置する

## 平成31年度 法人事業計画

- (1) 第2グループホーム事業の設置運営
  - ①土地取得について検討中  
(当事業所近隣の土地を不動産会社を通して交渉中)
  - ②建築、運営について検討し、準備が整い次第、計画を実施に移す

- (2) 地域貢献事業の推進、実施
  - ①当法人の社会資源を地域社会へ還元
  - ②地域住民のニーズに即した活動
  - ③地区社協、地域会議等への積極的な参加
  
- (3) 福祉人材の確保の推進
  - ①社会福祉事業に関連するサービス従事者を雇用する
  - ②業務に関連のある資格取得を推奨する
  
- (4) 活動内容
  - ①利用者の工賃向上に向けた取り組みを行う
  - ②利用者、保護者のニーズに応えた新しいサービスの提供を行う
  - ③利用者が、地域住民とふれあう機会を増やす
  - ④外部研修会等を利用し、職員の資質向上に努める
  
- (5) 理事会・評議員会の開催
  - ①年2回（6月、3月）理事会・評議員会を開催する
  - ※必要に応じ、臨時理事会・臨時評議員会を開催する

# 生活介護・就労継続支援B型事業 日本平学園

## 運営方針

- (1) 利用者個々の実態に合わせた支援により、社会参加と自立に努める。また、就労意欲の向上を図り、一人でも多く社会へ送り出すことが出来るようにする。
- (2) 利用者の重度化に対応するため、きめ細やかな援助を行い健康管理にも留意して、本人はもちろん保護者の負担軽減を図る。
- (3) 学園の諸行事を通して利用者の情緒安定と保護者の理解や、協力を高める。また、地域交流を目的とした行事を実施し、地域の方々の理解や連携を深めるように努める。
- (4) 市内の他事業所や各機関、企業との交流を深めて、作業能力の向上を図り、就労の促進に努める。

## 事業体系及び定員・現員

多機能型 定員40名（生活介護24名、就労継続支援B型16名）  
※現員50名…生活介護33名、就労継続支援B型17名

## 支援内容（作業・生活・健康・食事）

- ①施設内で作業を提供し、作業活動を支援する
- ②施設外就労を行うことで、社会経験を積む
- ③和紙づくり、焼き菓子販売その他の作業を充実させ、利用者の工賃向上に努める
- ④基本的日常生活の習慣や能力の獲得に努める
- ⑤精神的な安定を図り、日常の生活を落ち着いて過ごせるよう個々に合った療育活動を提供する

- ⑥利用者の健康状態を的確に把握し、疾病の予防に努める
- ⑦利用者一人ひとりに合った食事提供を行う
- ⑧プライバシーに配慮した利用者一人ひとりに応じた身辺介助を行う
- ⑨当事業所独自のサービス（散髪、入浴、通院付き添い等）を実施し利用者・保護者のニーズに応じていく

## 利用者の日課

9:00～10:00	登園（施設到着）	送迎車乗車、着替え等
10:00～11:45	午前の活動	作業活動、療育活動等
12:00～13:00	昼食、昼休み	準備、食事介助、片づけ
13:00～15:30	午後の活動	作業活動、療育活動等
15:30～	降園（帰宅）	送迎車乗車、保護者お迎え

## 年間行事

4月	入園式
5月	親子交流会・会食
6月	利用者健康診断
7月	音楽会
8月	歯科検診
9月	胸部レントゲン撮影
10月	親子遠足
11月	施設防災訓練、利用者健康診断
12月	クリスマス会、保護者参加年末大掃除
1月	成人式
2月	地域交流会、バレンタインデー

- ・避難訓練、音楽療法、血圧測定は毎月実施
- ・運動療法は土曜活動時に実施
- ・半期ごとに身長、体重測定実施

## 職員体制

- ・施設長 1名
- ・サービス管理責任者 1名
- ・生活支援員 8名
- ・職業指導員 1名
- ・目標工賃達成指導員 2名（うち1名は10～16時勤務の非常勤）
- ・事務員 1名
- ・嘱託医 1名
- ・看護職員 1名
- ・運転手 4名

# 共同生活援助事業 日本平ホーム

## 運営方針

生活している利用者が、心休まる生活を送れることを大切にする。障がいのある方は社会経験が少ないため偏った生活しか行えない現状がある。日本平ホームでは、利用者が様々な社会経験を行えるようホーム全体で取り組み、意思決定できる環境をつくり、働くことや暮らしへの目標・生きがいの創出に繋がられるよう支援する。

## 事業内容

- ①入居者自身が意思決定できる環境をつくる（意思決定支援を行う）
- ②美化に努め、快適に安心して生活を送れる環境を提供する
- ③自らハウスキューピングの意識を持ってもらうような支援をする
- ④家庭的な生活空間を重視し、個々のプライバシーを尊重する
- ⑤入居者と定期的にミーティングし、ニーズ把握に努める
- ⑥家族との連携を密にし、利用者の状況や課題を共有する
- ⑦1回/月 職員会議を行い、入居者のニーズに合った支援に努める
- ⑧地域の社会資源と連携を取り、入居者に必要なサービスを提供する
- ⑨バランスの取れた食事を提供する
- ⑩職員の資質向上のため、研修会への参加を促す
- ⑪地震や火災等に備え、1回/月 避難訓練を行う
- ⑫災害時に協力し合えるよう、日頃から地域の防災訓練に参加する

## 職員体制

6 : 30 ~ 15 : 15	世話人1名
7 : 30 ~ 9 : 30	生活支援員1名
15 : 00 ~ 19 : 00	世話人1名
16 : 00 ~ 21 : 00	生活支援員1名
21 : 00 ~ 翌7 : 00	宿直職員1名

## 設備等

- ・居室 7室 9.94 m<sup>2</sup> (6畳洋室、エアコン)
- ・リビング 1室 28.69 m<sup>2</sup>
- ・トイレ 1階2ヶ所、2階1ヶ所
- ・浴室 1階1ヶ所
- ・洗面所 1階2ヶ所、2階1ヶ所
- ・管理人室 1室 (自動通報装置付き火災報知器設置)
- ・スプリンクラー各居室に設置

## 月額利用料

- ・家賃 17,000円 (10,000円の補助あり)
- ・食費 朝食280円、夕食450円 (実際に食した回数)
- ・光熱水費 7,000円
- ・日用品費 5,000円



## 短期入所事業 日本平ホーム短期入所

### 運営方針

利用者の自立の手伝いとその家族の心身の負担軽減のために、個々のニーズに合った柔軟なサービスの提供に努める。利用者の立場になって思いやりを持った支援を行う。

定 員 2名

利用時間 15:30～翌9:30

職員体制	15:00～19:00	世話人1名
	16:00～21:00	生活支援員1名
	21:00～翌7:00	宿直職員1名
	6:30～15:15	世話人1名
	7:30～ 9:30	生活支援員1名

居室面積 9.94㎡（6畳洋室）

居室設備 テレビ、エアコン、ベッド、見守りモニター（希望者のみ）

### 日額利用料

・食費	朝食350円、夕食550円
・光熱水費	300円

合計1,200円